

15 危険物移送中に移動タンク貯蔵所のマンホール蓋の閉鎖が不完全であったためタンク内の危険物が流出した事故

1 発生年月

平成21年3月

2 施設区分

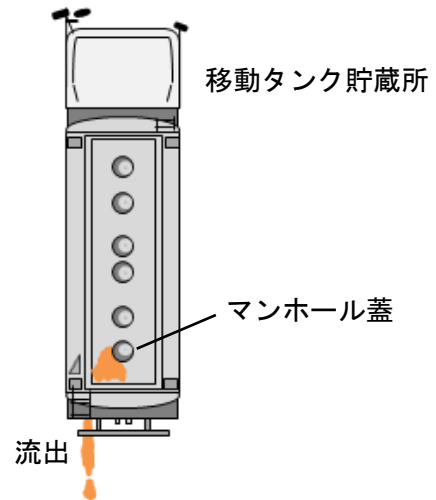
移動タンク貯蔵所

3 物質区分

第4類第1石油類（航空機燃料）

4 事故概要

危険物を積載した移動タンク貯蔵所が製油所を出発して目的地に向かう途中、タンクのマンホール蓋が開放して、タンク内の危険物が約5リットル路上などに流出した。



5 事故原因

製油所で、危険物を積載した後、品質管理を目的とするサンプル検査を受けた。1槽目から5槽目までは目視検査のみで、移動タンク貯蔵所の運転手が自らマンホール蓋を閉じてバルブを締めた。6槽目のみサンプルの抜き取りがあり、マンホール蓋は検査員が閉じて、バルブは運転手が締めた。その際、触手確認でがたつきがなかったためマンホール蓋が完全に閉じていると思い込み、アームピンにツメが掛かっているかどうかの確認をしなかった。結果として、6槽目のマンホール蓋の閉鎖が不完全となり、走行中にタンク内の危険物が溢れて路上などに流出した。

6 対策

移送開始前、目視確認及び触手確認の徹底により、マンホール蓋、注入口の蓋等の閉鎖を確実にを行う。

<関連する保安教育資料>

- ・「5 危険物移送中の注意点」（平成20年2月発行）
- ・「29 危険物移送開始前の注意点」（平成22年3月発行）
- ・「48 移動タンク貯蔵所における流出事故の状況」（平成23年10月発行）